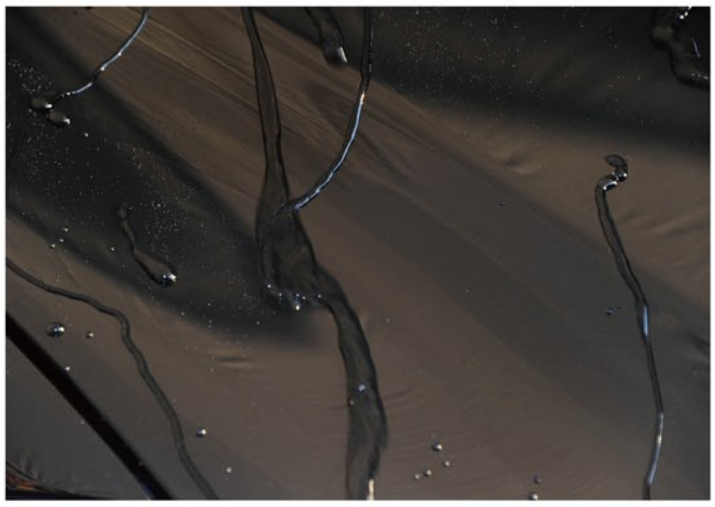
最高峰ガラスコーティング美的ボディで差をつけろ



「施行直後の輝きや撥水力の高さも素晴らしいのですが、実は施工後1年経過した車両の塗装状態にかなり差が出るんです」そう語るのは、埼玉県川越でカーコーティングやカーセキュリティ、カーフィルムの施行を行っているプロショップ、ライジング代表の鈴木サン。15年以上カーコーティングにわってきた彼が自信をもって一番にオススメするのが、ガラス系ボディコーティングの最高峰G'ZOXのハイモースコートだ。

ガラス系ボディコーティングといえば今や多くのショップが導入しているが、このハイモースコートはモース硬度レベル7という高硬度のコーティング被膜を作ることができ、細かいスクラッチを寄せ付けることなく、強固に塗装面を保護。プライマーコートが作りだすガラス質は極めて透明度が高く、驚くほどの輝きを生み出してくれる。さらにフッ素系のトップコートにより、高い撥水と撥油性能も実現している。

「透明度が本当に高いので、下地作りはかなり大変です。でも施行後のボディは見違えるような美しさですよ。汚れも付きづらいですし、撥水が効いていて水玉がコロコロと転がっていくところも喜ばれていますね」

他のガラス系コーティングを経験したことがある人も、その違いに驚くという。そしてクルマが替わってもまたハイモースコートを、とリピーターとなる人も少なくないそうだ。

どんなに愛車をスタイルアップしても、ボディがキズだらけではもったいない。ハイモースコートで最後の仕上げをすれば、この上ない仕上がりとなるはずだ。

ライジング代表取締役
鈴木一弘サン

「ハイモースコートは使いこなすには高い技術を必要としますが、施工後の仕上がりは見違えるほどです。持続性も高いので、他のコーティングを経験された方でも満足していただけると思います」

↑ボディの仕上がりを水銀灯のもとで確認していく。ガラス被膜の透明度がとても高いので、しっかりとした下地処理が必要となる。もちろんライジングの技術は完璧

仕上がり　鏡面のような映り込みの美しさは新車以上!

→丁寧な下地処理によって研ぎ出されたボディに、ガラス皮膜のプライマーコートとフッ素系皮膜のトップコートを施すことで、極上の肌を実現。高硬度の保護皮膜なので、洗車機を使用しても大丈夫というからスゴイ

↓重要なポイントとなる下地作り。塗装面の状態を確認しながら複数のバフを駆使して磨いていく。ここでの処理が最終的な仕上がりで差となるのだ

↓超撥水を実現するトップコートも手塗り。丁寧な作業により形成されるフッ素被膜は、撥水角110°、撥油角70°を実現。持続性の長さも特徴のひとつ

↑ガラス被膜を形成するプライマーコート。薬液はバフ掛けではなく、専用クロスを使って手塗りで施行されていく。硬く透明度の高い被膜が魅力だ

Hi-MOHS COAT

透明で強固なガラス被膜と平滑で緻密なフッ素被膜で、愛車の塗装面を確実に保護してくれるハイモースコート。美しいボディを長期間維持してくれる最高級のコーティングだ

ライジング

埼玉県川越市天沼新田191-7　TEL.049-239-0400
www.rizin.com/　9:00〜19:00　月曜定休

長年コーティングに携わってきた鈴木代表が率いるライジング。丁寧で確実な作業に定評がありリピーターも多い。週末ともなるとお客さんが集まってくるフレンドリーなお店だ。アクセスは関越自動車道・鶴ヶ島インターからが便利